ヒト由来グルタミン合成酵素、組換え

Cat. No. NATE-1675

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	GLULはグルタミン合成酵素としても知られています。これは、各サブユニットに2つの二価カチオン部位と1つの一価カチオン部位を含む三金属酵素です。GLULは細胞内のグルタミン酸濃度を調節し、グルタミン酸とアンモニアからグルタミンの合成を触媒します。これはヒトに広く発現しており、細胞□殖、アポトーシスの抑制、細胞シグナル伝達など、多くの代謝□路において重要な役割を果たしています。組換えヒトGLULはE.coliで発現され、従来のクロマトグラフィー技術を用いて精製されました。
別名	グルタミン合成酵素; GS; EC 6.3.1.2; グルタミン酸-アンモニアリガーゼ; GLNS; PIG43; PIG59; GLUL

製品情報

種	人間
由来	大腸菌
形態	液体
***EC**番号*	EC 6.3.1.2
***CAS**登□番号*	9023-70-5
分子量	42 kDa
純度	> SDS-PAGEによる85%
活性	> 2.000 pmol/min/µg
濃度	1 mg/ml
単位定義	1単位は、pH 7.5、37°CでPK/LDHと結合系において、L-グルタミン酸をL-グルタミンに□換する酵素の量として定義されます。

保管・発送情報

保存方法	短期間（1-2週間）で4°Cに保存できます。長期保存の場合は、分注して-70°Cで保存してください。繰り返しの凍結と解凍のサイクルを避けてください。